

「令和6年 飯塚市10大ニュース」

順位	名称	概要
1	生涯スポーツの拠点に～飯塚市グラウンドゴルフ場がオープン～	令和4年度から大将陣公園付近に建設中であった飯塚市グラウンドゴルフ場が完成、10月24日に関係式典などが行われ、11月1日にグランドオープン。グラウンドゴルフ場は4コース32ホール of 広大な天然芝のプレイエリア、クラブハウスを備えた施設となっており、多くの方に利用されています。今後は大規模な大会の開催、健康維持・仲間づくりの場としての役割を担うことが期待されています。
2	令和5年度飯塚市ふるさと納税寄附金額が過去最高額を更新、100億円突破	8月に総務省が令和5年度の全国ふるさと納税受入額実績を発表しました。飯塚市の令和5年度のふるさと納税受入額は、105億1千万円と、初の100億円を突破し、全国で9位、九州で2位、県内では4年連続1位となりました。
3	市民全員に5,000円分の「生活応援クーポン券」が配付	物価高騰の影響を受けている市民の皆さんの負担軽減・地域での消費喚起のため、市内店舗で利用できる「飯塚市生活応援クーポン券」（1人当たり5,000円）の発行が決定、10月下旬から各世帯に郵送配付されました。クーポン券は令和7年1月末までの使用期限であることから、現在、市民の皆さんに広く利用されているところです。
4	沢井製薬株式会社第二九州工場新固形剤棟が竣工	沢井製薬株式会社第二九州工場新固形剤棟が、約2年の建設期間を経て竣工。ジェネリック医薬品の製造拠点の一翼を飯塚市が担うとともに、市民の働く場として300人を超える雇用と350億円の投資が実現し、地域経済の活性化と税収の増加に貢献。今後、更なる設備投資が計画される中、市外からの採用も積極的に促し、社員の定住促進による人口増加を目指します。
5	安心できる子育てを～こども未来部発足、保育料第2子以降無償化など子育てに手厚い事業がスタート～	令和6年4月からこども施策を推進する「こども未来部」を創設、「保育料第2子以降無償化」、「穂波東保育所開所」、「市立病院小児科休日・夜間診療開始」など、安心して子育てができる様々な事業がスタート。今年度末には更なる子育て施策の充実を目指し「飯塚市こども計画」を策定します。
6	子どもたちの文武の躍進～「飯塚高校製菓部」「幸袋ジュニア」が全国優勝～	「飯塚高校製菓部」が、9月に東京で開催された「第17回スイーツ甲子園全国大会」に出場し見事に全国優勝、2年ぶりの優勝カップを飯塚に持ち帰りました。また、幸袋小を中心に市内5校の男子で結成する小学生男子バレーチーム「幸袋ジュニア」が、8月に東京体育館で開催された「第44回全日本バレーボール小学生大会」で初出場・初優勝を果たしました。今年も子どもたちそれぞれの躍進が地元で元気なニュースを届けてくれました。
7	進むインフラ整備～八木山バイパス4車線化事業・飯塚駅周辺地区整備事業～	「活力あるまち」を象徴するように今年も都市インフラが順調に整備されました。八木山バイパス4車線化事業は、昨年8月に掘削工事に着手した九郎原トンネルが貫通し、10月16日には走行車線の切替が行われるなど、4車線での供用開始に向け順調に事業が進みました。飯塚駅周辺も駅舎、自由通路及び飯塚駅東西駅前広場の整備工事、地区内の桜ヶ丘踏切改良工事に着手、令和8年度の事業完了に向けて安全に事業実施に取り組んでいるところです。
8	女性農業者の長野路代さんが全国初の「令和5年度農山漁村女性活躍表彰」「審査委員特別賞」を受賞	「ながのばあちゃん」こと、長野路代さんが、農山漁村で女性の活躍を後押しする個人等を表彰する「令和5年度農山漁村女性活躍表彰」にて、表彰制度初の審査委員特別賞を受賞。農家出身の長野さんは、30年以上前に「野々実会」を立ち上げ、伝統的な農産加工品開発・販売に加え、新聞コラム連載やテレビ出演等を通じ女性の経済的自立と伝統料理の普及に尽力、地域の認知度向上と経済活性化への貢献度が高く評価され、飯塚市初の本表彰受賞者にもなりました。
9	飯塚鎮西小学校でSTEAM（スティーム）教育はじまる。	3月26日に飯塚鎮西小学校でSTEAM（スティーム）教育推進事業を行う「ii-Lab」のオープニングセレモニーを開催。STEAM教育では教科等の横断的な学習を行うことで、将来のVUCA時代（目まぐるしく変わる予測不可能な時代）を生き抜く子どもたちにとって、柔軟な思考力や創造力が育成されることが期待されます。
10	立命館アジア太平洋大学（APU）、九州工業大学及び飯塚市との三者連携協力に関する協定書を締結	1月30日、人材育成と地域経済の活性化等の連携事業に取り組み、多様な人材から学ぶ場所として選ばれる大学及び地域を目指すため、立命館アジア太平洋大学（APU）、九州工業大学及び飯塚市の三者での連携協力に関する協定書を締結。今年度は、三者連携事業として、飯塚国際車いすテニス大会の運営補助や地域や企業の課題に向き合い解決案を提案するワークショップを実施し、グローバル人材の育成を図りました。